

1. 2020年度事業報告

(2020年4月1日から2021年3月31日)

【企画運営活動】

1. 第37回社員総会

2020年5月29日、大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1丁目8番4号)において開催した。代議員総数135名のうち、113名(内10名出席、委任状103名)が出席し、代議員の過半数である定足数を満した。第37回社員総会は成立したことを確認した後、次の議案を審議し、満場一致で承認決議を行った。

- (1) 2019年度事業報告承認の件
- (2) 2019年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- (3) 2020年度役員選任の件
- (4) 名誉会員推戴の件
- (5) その他

報告事項1. 2020年度事業計画報告の件、報告事項2. 2020年度収支予算報告の件、報告事項3. 新終身会員報告の件

2. 理事会(4/15、9/1、12/7、3/30)

本会の意思決定機関として、本会の事業活動を担っている事業企画委員会、会誌委員会、各種委員会、特別委員会等の活動状況の報告をうけ、定款によって定められた審議事項並びに会全体の運営に係わる事項及び公益支出計画実施報告書について審議・決定した。

3. 委員会

会長の諮問に答え、また委員会規程に基づき各種の業務執行にあたる。2020年度は下記11の委員会及び監査会を開催した。

(1) 人事・財務委員会(1回)(7/21)

事務局職員人事・給与及び契約職員の時給等、および本会の予算案の編成並びに経理と財務を掌理し、長期的財政の安定を図るために委員会を開催し、本年度の予算の執行、次年度の予算について審議し、理事会に提案した。

(2) 事業企画委員会(5回)(4/17<中止>、6/10、8/26、10/23、12/15、2/24)

本会の目的達成に必要な事業の企画・実施するために委員会を開催した。

(3) 会誌委員会(11回)(4/13<中止>、5/11<中止>、6/8、7/6、8/3、9/7、10/5、11/2、12/8、1/5、2/8、3/9、3/22)

会誌の編集、刊行を掌理するために編集委員会を開催した。

(4) 技術賞委員会

化学技術賞審査委員会(2回)(4/10、3/17)、技術賞委員会(2回)(8/11、12/2)

表彰規定に基づき化学技術賞授賞者及び環境技術賞授賞者の選考を行うために技術賞委員会と審査委員会を開催し、2019年度と2020年度の授賞者を選定した。

(5) 総務委員会(6回)(5/26、7/7、9/23、12/16、1/6、2/18)

総務的事項並びに他の委員会に該当しない事項で、本会の運営上必要かつ重要な事項について審議し、理事会へ提案した。

(6) 合同事務局運営委員会(2回)(6/26、8/25)

一般財団法人大阪科学技術センタービル608号室に同居する化学系の学術5法人の運営に関する事項について委員会を開催し、部屋代・人件費・社会保険料・事務局運営経費等の分担経費を決定した。

(7) 研究部門委員会 (2回) (8/21、3/25)

専門部会の運営、改廃を掌理し、また本会の目的のための必要な部会・研究会の設置について審議するため委員会を行った。

(8) 男女共同参画推進委員会 (1回) (3/5)

本会が広く女性化学者の集う場となるべく、具体的な事業の企画立案を行うため委員会を行った。

(9) 情報化委員会 (1回) (6/1)

本会の効率的・効果的運営に必要な情報化社会システムの活用について企画、推進した。

(10) 役員選考委員会 (2回) (4/3、10/27)

2020年度、2021年～22年度理事・監事候補者選考のため、会長に指名された委員にて選考委員会を開催した。

(11) 各部門合同委員会 (1回) (11/27)

各部門委員会の横断的な課題を検討するため、会長に指名された委員にて各部門合同委員会を開催した。

(12) 監査会 (1回) (4/14)

定款第25条に掲げる監事の業務を執行するために①理事会に出席、②監査会を開催した。

【国際研究集会・国際交流事業】 (公益目的事業1)

多くの日本の研究者及び化学系企業が進出している海外の下記拠点において大学・研究機関・企業の技術者を対象とした技術交流会 (学術講演会・見学会) を開催し、学術研究や異種産業技術間の連携・交流の場を提供する。会員・非会員に関係なく広範に参加を募り、我が国科学技術の振興と社会経済の発展に貢献することを目的とする。

1. 韓国工業化学会との交流

2020年度は情報交換及び化学啓発行事である韓国化学工業会の年次大会の内容などを本会の会誌及び韓国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

2. 韓国蔚山工業誘致協会(精密化学品工業センター) との交流

上記同様年次大会の内容などを本会の会誌及び韓国蔚山工業誘致協会の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

3. 日中化学産官学交流

第13回上海化学産官学交流会及び上海サロン<中止>

【優れた研究業績の顕彰事業】 (公益目的事業2)

化学工業振興の見地より若い研究者及び技術者の優れた業績を発掘するとともに、化学技術の発展に向けての更なる貢献を期待し、その業績をたたえ激励することを目的として、化学技術賞・環境技術賞を設けて顕彰を行う。

1. 2019年度第72回化学技術賞授賞者7件・22名並びに第20回環境技術賞授賞者2件・6名を選定・表彰を行った。

2. 2020年度第73回化学技術賞並びに第21回環境技術賞の審査を行った。(3/17)

第73回「化学技術賞」

2020年度内における化学に関連する研究・技術で、工業化したもの、工業化しうるもの、工業化への寄与が著しいもので、特に顕著な業績のあった者を本会の定款及び表彰規定に基づき、第73回「化学技術賞」授賞候補者として、6件・26名を選定した。

第21回「環境技術賞」

2020年度内における化学に関連する研究・技術で、地球環境との共存並びにその維持・改善を積極的に意識し、方向付けがなされた新技術・改良技術で、特に顕著な業績のあった者を本会の定款及び表彰規定に基づき、第21回「環境技術賞」授賞候補者として、5件・12名を選定した。

【人材育成のための研修事業及び能力開発事業】（公益目的事業3）

1. 研修塾

第42期（塾生22名）

会員企業より選抜された30歳代の技術者、研究者を対象に1年を通じて人格並びに人脈形成を図った。明日の産業界を担う次代の人材育成を主旨に、自らに討議主題を課すと共に自らの頭で考える力を涵養し、また、第一線でご活躍の講師を招いて、その人間性や思想に触れる中でお互いに研鑽し、資質を磨き、人脈並びに人格形成を図るために8回の講座を開催する。なお、例年は4月より開催をおこなっているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、8月からの開催となった。また懇親会と自主講座については、感染状況により開催を判断する。

8月講座・8月1日・大阪科学技術センター <対面・オンライン>

①塾頭、副塾頭挨拶

②「自動車用高分子材料の開発ーナノコンポジットからセルロースナノファイバーまでー」

京大生存圏研究所 特任教授 臼杵 有光氏

③「パワーハラスメント防止のための法政策」

京都大学人間・環境学研究科 教授 小畑 史子氏

9月講座・9月12日 <オンライン>

①塾頭講話「きんか その心は」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松本 章一氏

②自己紹介

③副塾頭講話「数学の美と物質の美ー結晶に潜む鏡像ー」

大阪大学産業科学研究所 招聘教授 宮田 幹二氏

④副塾頭講話「人間、環境、エネルギーー自己紹介を兼ねてー」

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 藤田 健一氏

10月講座・10月3日 <対面・オンライン>

①「売れる商品開発のための工学的アプローチ」

ヨクスル(株) 代表取締役 高木 正和氏

②「国内特許と外国特許」

青山特許事務所 パートナー 江間 晴彦氏

11月講座・11月7日 <オンライン>

①自己・自社PR

12月講座・12月5日 <オンライン>

①「『窒素社会』によるエネルギー資源革命」

東京大学大学院工学系研究科 教授 西林 仁昭氏

②「芸術するところの起源」

京都芸術大学文明哲学研究所 准教授 齋藤 亜矢氏

1月講座・1月23日 <オンライン>

①「技術者倫理を考える」

近畿化学協会 化学技術アドバイザー／日本ウレタン工業協会 技術顧問 和田 康一氏

②事例研究とグループディスカッション

③交流会

2月講座・2月6日 <オンライン>

①「高分子化学研究に携って半世紀」

大阪大学産業科学研究所 特任教授／大阪大学名誉教授・荣誉教授 原田 明氏

②「いのち輝く未来社会のデザイン 1970年大阪万博から2025年大阪・関西万博に向けて」

大阪府 特別顧問／大阪市 特別顧問／大阪府立大学研究推進機構 特別教授

大阪府立大学観光産業戦略研究所 所長／大阪市立大学都市研究プラザ 客員教授 橋爪 紳也氏

③交流会

3月講座・3月27日 <オンライン>

①「化学を伝える技術」

サイエンスライター 佐藤健太郎氏

②まるき葡萄酒(株) オンラインワイナリーツアー

③交流会

2. 学術セミナー・講習会

本会の目的達成をするために事業企画委員会で化学に関する専門的な学術セミナー・学術講習会・学術講演会・見学会等の開催により、科学技術の普及・振興を図る。

第25講「研究開発リーダー実務講座2020」－企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは？

－・7月31日～12月4日（毎月1回開講・全6回）<オンライン>

第1回（7月31日）「研究開発リーダーのあり方」（49名）

①趣旨説明

②話題提供「弱者の時代のリーダーシップ－上司を動かす3つの技術－」

ケルセジェン・ファーマ ファウンダー 兼 開発担当社長 小野 光則氏

③グループディスカッション

第2回（8月5日）「新規事業開発とアントプレナーシップ」（48名）

①話題提供「富士フィルムの挑戦－第二の創業と化粧品事業の立ち上げ－」

富士フィルム(株)R&D統括本部 イノベーションアーキテクト 中村 善貞氏

②話題提供「新規事業開発とアントプレナーシップ」

神戸大学大学院経営学研究科 教授 忽那 憲治氏

③グループディスカッション

第3回（9月2日）「人財を活かすマネジメント」（50名）

①話題提供「三洋化成の研究開発マネジメントとダイバーシティ推進について」

三洋化成工業(株) 総務副本部長／元 ダイバーシティ推進部 部長 山崎 有香氏

②話題提供「素材会社におけるシェフ型研究者の育成」

三井化学(株) 常勤監査役 諫山 滋氏

③グループディスカッション

第4回（10月7日）「産学連携と知財戦略」（49名）

①話題提供「日本の産学連携を考える－知財実務家の視点－」

山本特許法律事務所 弁理士 山本 秀策氏

②話題提供「産学連携によるイノベーション創出」

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 教授 坂井 貴行氏

③グループディスカッション

第5回（11月4日）「イノベーションと変革」（48名）

①話題提供「サステナブルな人材マネジメントの明日を考える！」

(国研)医療基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所 所長 近藤 裕郷氏

②話題提供「「イノベーションの制約は何か」～TOC流イノベーションプロセス～」

Goldratt Japan(株) CEO 岸良 裕司氏

③グループディスカッション

第6回（12月4日）「ビジョンと独創的な製品開発」（46名）

①話題提供「創薬への情熱－睡眠薬ロゼレムの誕生秘話－」

東和薬品(株)上席執行役員・原薬事業本部長
兼 製品戦略本部 兼 基盤技術本部担当 内川 治氏

②グループディスカッション

近化若手フォーラム【第5回】・5月・塩野義製薬(株)医薬研究センター<延期>

近化電池セミナー「アドバンストLIBを理解するための材料電気化学－その基礎と応用－」

・1月13日<オンライン>（69名）

①「岩塩型リチウム過剰高容量正極材料研究の新展開」

横浜国立大学工学研究院 教授 藪内 直明氏

②「酸化物負極の構造と電極特性」

大阪市立大学大学院工学研究科 准教授 有吉 欽吾氏

③「リチウムイオン電池用ケイ素系負極の創製とキャラクタリゼーション」

鳥取大学大学院工学研究科 教授 坂口 裕樹氏

④「黒鉛系負極とSEI」

京都大学大学院工学研究科 教授 安部 武志氏

⑤「固液界面近傍におけるイオン伝導」

神戸大学大学院工学研究科 教授 水畑 穰氏

⑥「次世代電解液材料の考え方」

東京大学大学院工学系研究科 准教授 山田 裕貴氏

⑦「全固体リチウムイオン電池に向けた結晶系固体電解質材料の開発」

東京工業大学物質理工学院 教授 平山 雅章氏

⑧「全固体電池への応用にむけたアモルファス系固体電解質の開発」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 林 晃敏氏

近化資源・環境セミナー「温暖化から地球を守る、環境対応型プラントの展望」・2月25日
<オンライン>（48名）

①「水と炭酸ガスから石油をつくり同時に炭酸固定を行う技術の実用化」

立命館大学総合科学技術研究機構 上席研究員 今中 忠行氏

②「CO₂選択透過膜の開発とその応用・実用化状況」

(株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ 代表取締役社長 岡田 治氏

③「アンモニアのオンサイト供給を目指して～アカデミアの基礎研究から実証機まで携わってき
うこと～」

つばめBHB(株)R&Dセンター研究開発部門触媒セクション マネージャー 井上 泰徳氏

④「バイオベースの新素材「改質リグニン」の地域導入型製造システム」

(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所 新素材研究拠点長
リグニンネットワーク（地域リグニン資源開発ネットワーク） 代表 山田 竜彦氏

第2回「近化サミット」<延期>

近化新春セミナー2021・1月22日<オンライン>（165名）

①「関西の偉人たちに学ぶ 危機に強い生き方」

作家 北 康利氏

②「新型コロナウイルスの謎」

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 招へい教授／大阪大学名誉教授 宮坂 昌之氏

第17回キンカ高分子化学研修コース・3月8日<オンライン> (47名)

①「高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術」

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏

②「高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合」

住友重機械プロセス機器(株)技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏

③「高分子物性の基礎と応用～相溶性と高分子ブレンド」

滋賀県立大学工学部材料科学科 教授 徳満 勝久氏

④「高分子材料の成形加工品の評価～ユーザーから見れば」

大阪ガス(株)イノベーション推進部 オープンイノベーション室長 樋口 裕思氏

⑤「研究開発と事業化～機能性ポリマーの企業化例を通じて」

(株)日本触媒 チーフテクノロジーマネージャー 上田 賢一氏

第11回ファインバブル技術講習会「混相流分野におけるファインバブル研究の進展」・3月15日
<オンライン> (65名・企業紹介6社)

①基調講演「生理活性作用を示すマイクロバブルの特異的性質」

鹿児島工業高等専門学校 校長 氷室 昭三氏

②招待講演「加圧溶解攪拌によるUFB水の生成とその利用」

久留米工業大学機械システム工学科 准教授 高山 敦好氏

③企業紹介 [ビデオなど]

IDEC(株)、(有)OKエンジニアリング、(株)サイエンス、(株)富喜製作所、(株)Ligaric、
(株)ワイビーエム

④企業講演「ウルトラファインバブルを活用した施設清掃への取り組み」

(株)Ligaric 開発事業部開発営業課 課長代理 山近 晋也氏

⑤企業講演「ファインバブルのある生活」

(株)サイエンス 専務取締役 平江 真輝氏

⑥招待講演「ファインバブル測定技術の比較 - 動的光散乱法、レーザー回折散乱法、粒子追跡法」

慶應義塾大学 博士課程 田中 俊也氏

⑦企業講演「標準化 (ISO・JIS) への取組と加圧式UFB発生装置を利用した各種洗浄への応用」

(株)ワイビーエム ファインバブル事業開発部 課長 宇川 岳史氏

⑧企業講演「ファインバブルの活用による効果と難しさ」

(株)富喜製作所 専務取締役 松本 琢史氏

⑨招待講演「金属表面への付着汚れに対するマイクロバブル混合液の洗浄効果」

新潟大学工学部 准教授 牛田 晃臣氏

3. 学術講演会

社員総会終了後の特別講演会・5月29日・大阪科学技術センター<中止>

「ゲノム情報を活用した生物多様性保全」

京都大学大学院農学研究科森林科学専攻 教授 井鷲 裕司氏

4. 男女共同参画推進フォーラム

社員総会終了後の講演会・5月29日・大阪科学技術センター<中止>

「6Kライフのすすめ～会社員・子育て・家事・育児・子供会～」

関西広域連合「関西女性活躍推進フォーラム」委員

内閣府男女共同参画専門調査会 元委員／(株)東レ経営研究所 渥美 由喜氏

5. 見学会（科学技術週間協賛行事）

科学技術の普及啓発活動の一環として、科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図ることを目的に下記の見学会を実施する。

科学技術週間協賛行事「武田薬品工業(株)京都薬用植物園の見学会」・4月13日・武田薬品工業(株)京都薬用植物園<中止>

- ①武田薬品工業(株)京都薬用植物園の概要説明
- ②京都薬用植物園の見学会

【化学に関する知識普及及び情報の提供事業】（公益目的事業4）

会誌「近畿化学工業界」を月刊誌として、化学工業に関する広巾な知識の普及と情報の提供を行うこと及び情報の交換の場とすることを目的として発行する。記事内容は共通する事項を網羅して、専門以外の幅広い化学分野の最先端の動きを掲載することにより、化学技術の普及と振興を図る。

1. 会誌「近畿化学工業界」（月刊） 第72巻第4号(通巻804号)～第73巻第3号(通巻815号)

【技術交流事業】（共益事業1）

特定分野に限らない学術講演会・サロン・見学会・交流会の開催により、科学技術の普及、振興を図る。

1. キンカ東京サロン

東京在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

- 第147回 4月<中止>
- 第148回 6月<中止>
- 第149回 9月<中止>
- 第150回 11月<中止>
- 第151回 2月20日<オンライン>（11名）

2. キンカ京都化学者クラブ

京都在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

毎月第1土曜日を原則として京都大学楽友会館にて開催

- 第358回・4月4日・京都大学楽友会館<中止>

「遠隔山岳地域の湿性沈着中の微量元素」

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 助教 山本 祐平氏

- 第359回・5月9日・京都大学楽友会館<中止>

「3DプリンタによるXRF分光器の製作」

京都大学大学院工学研究科材料工学専攻 助教 田中 亮平氏

- 第360回・6月6日・京都大学楽友会館（20名）

「砂糖の科学と文化史；あれこれ」

京都大学名誉教授 左右田健次氏

- 第361回・7月4日・京都大学楽友会館（12名）

「フラーレン（C60）の光化学反応を利用した化学電池と水素発生」

信州大学名誉教授 特任教授 樋上 照男氏

- 第362回・8月1日・京都大学楽友会館（13名）

「海の流れと地球の自転」

京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 准教授 吉川 裕氏

第363回・9月5日・京都大学楽友会館（9名）

「明らかとなってきた D-アミノ酸の機能」

名古屋大学大学院生命農学研究科 教授 吉村 徹氏

第364回・10月3日・京都大学楽友会館（14名）

「3DプリンタによるXRF分光器の製作」

京都大学大学院工学研究科材料工学専攻 助教 田中 亮平氏

第365回・11月14日・京都大学楽友会館（41名）

公益財団法人海洋化学研究所74周年秋季講演会

第366回・12月5日・京都大学楽友会館（10名）

「遠隔山岳地域の湿性沈着中の微量元素」

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 助教 山本 祐平氏

第367回・1月9日・京都大学楽友会館（5名）

新春賀詞交歓会

第368回・2月6日・京都大学楽友会館（11名）

「in situ抽出剤生成法の誕生から将来展望まで」

金沢工業大学 客員教授 藤永 薫氏

第369回・3月6日・京都大学楽友会館（11名）

「電波で挑む雷放電と雷雲の科学」

近畿大学理工学部電気電子工学科 教授 森本 健志氏

3. キンカつくばサロン

筑波在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い
会員交流・技術情報の交換を図った。

第21回・3月<中止>

4. 新年交歓会

化学並びに化学工業界の発展に尽くされた名誉会員をはじめ、大先輩をお招きして、産官学の会員
が一堂に会して、化学技術に関する情報交換と交流会を行った。

第74回新年交歓会：1月22日・ホテルグランヴィア大阪<中止>

5. 化学技術アドバイザー会（キンカCA）

アドバイザー登録者（近畿化学協会正会員の有志101名）による自主運営とし、近畿化学協会での位
置づけ（組織図）は、研究部門委員会（専門部会・目的研究会）の規定を準用する体制のもとで活動
を行う。

会員企業及び一般企業から依頼により技術相談を行う活動と工学倫理研究会、化学教育研究会、安全
研究会、MOT研究会では登録会員間の情報交換・懇談会及びこれまでの経験を生かした社会への貢
献、啓発活動を行う。

技術相談日：随時対応

アドバイザー情報交換・懇談会（年4回）

工学倫理研究会：原則毎月1回（第4月曜日）

化学教育研究会：原則毎月1回（第2水曜日）

安全研究会：原則毎月1回（第1月曜日）

MOT研究会：原則毎月1回（第3水曜日）

【技術相談】5件申込があり、3件に対応

【年次大会】6月1日<メール審議>

【情報交換・懇談会】6月1日<中止>、9月17日<オンライン懇談会>（25名）、

1 2月10日<オンライン忘年会> (23名)、2月15日<オンライン懇談会> (19名)
「」内は対面での参加者数。

【工学倫理研究会】<オンライン>

工学倫理の教授法について意見交換を重ねるとともに、大学・学校などへ講師の推薦を行った。
第185回 (5/25・27名)、第186回 (6/22・28「5」名)、第187回 (7/27・23「3」名)、第188回 (9/28・26「7」名)、第189回 (10/26・23「5」名)、第190回 (11/30・22「4」名)、第191回 (12/21・23「5」名)、第192回 (1/25・25「5」名)、第193回 (2/22・27「4」名)、第194回 (3/22・30「5」名)

【化学教育研究会】<オンライン>

学生(小学生から大学院まで)を対象として地球環境・産業に関わる化学教育支援及び専門化学教育支援を行った。

第186回 (5/13・16名)、第187回 (6/10・15名)、第188回 (7/8・16「9」名)、第189回 (9/9・11「3」名)、第190回 (10/14・14名)、第191回 (11/11・13「4」名)、第192回 (12/9・13名)、第193回 (1/13・13名)、第194回 (2/10・13名)、第195回 (3/10・14名)

【安全研究会】<オンライン>

公的機関及び企業・大学向けの教育資料作成と安全指導を行った。

第172回 (7/6・18「1」名)、第173回 (9/7・18名)、第174回 (10/5・15「1」名)、第175回 (11/2・15「1」名)、第176回 (12/7・11名)、第177回 (1/12・13名)、第178回 (2/1・13名) 第179回 (3/1・15名)

【MOT研究会】<オンライン>

化学産業において実際に役立つ研究開発テーマの発掘と育成をめざした実践的技術経営の検証を行った。

第67回 (7/15・12名)、第68回 (9/23・14名)、第69回 (10/21・13名)、第70回 (11/18・12名)、第71回 (12/16・13名)、第72回 (1/20・10名)、第73回 (2/17・13名)、第74回 (3/17・10名)

【専門部会事業】 (共益事業2)

化学の専門分野に応じた9の各専門部会を設置し、各専門部会が部会の目的に沿って部会員の活動の場となり、部会員が協力して科学技術の振興を図る。部会員相互の学術的及び技術的知識の増進を図ることを目的として、例会(学術講演会)、基礎講習会、学術講習会、学術セミナー、討論会、シンポジウム、フォーラム、公開講演会、懇話会等を行う。

第1部会(有機金属部会)

有機金属化学における基礎研究並びにスペシャリティケミカルズの開発に関する研究会として例会(学術講演会)・学術セミナー・討論会等の実施及び知識普及事業として部会機関誌 Organometallic News を刊行した。

第1回例会・4月24日・大阪科学技術センター<中止>

①「有機ヨウ素化学に魅了されて35年」

佐賀大学大学院工学系研究科 教授 北村 二雄氏

②「不安定化学種の安定化：感応性化学種の化学」

広島大学大学院理学研究科 教授 山本 陽介氏

③「低原子価金属を用いる反応活性種の創製」

岡山大学大学院自然科学研究科 教授 高井 和彦氏

第47回有機金属化学セミナー・6月3日・キャンパスプラザ京都 <2021年に延期>

①「遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識」

大阪府立大学大学院理学系研究科 教授 大橋 理人氏

②「有機典型金属反応剤の活用と触媒的不斉合成反応への展開：P-キラルホスフィン配位子の合成と不斉水素化への応用を中心に」

千葉大学名誉教授／北海道大学 客員教授 今本 恒雄氏

③「クロスカップリング反応」

京都大学大学院理学研究科 准教授 藤原 哲晶氏

④「C-H官能基化」

大阪市立大学大学院理学研究科 教授 西村 貴洋氏

⑤「オレフィンメタセシス反応」

大阪府立大学大学院理学系研究科 教授 神川 憲氏

⑥「遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成」

関西学院大学理工学部 教授 畠山 琢次氏

第2回例会・6月12日・東京大学駒場地区キャンパス駒場IIキャンパス<中止>

①「有機金属ができること」

東京工業大学科学技術創成研究院 教授 小坂田耕太郎氏

②「炭素原子が有機分子中で連続して移動する現象の発見およびその原理の提案と検証

—メリーゴーランド反応への展開」

北海道大学触媒科学研究所 教授 高橋 保氏

③「転位と多重結合 ～有機ケイ素化学と歩んだ44年～」

東北大学大学院理学研究科 教授 飛田 博実氏

④「 $1 + 1 > 2$ 」

九州大学先導物質化学研究所 教授 永島 英夫氏

第67回有機金属化学討論会・9月9日～11日・京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

<2021年に開催延期（広島大学東広島キャンパスにて開催予定）>

有機金属部会創立70周年記念講演会・9月10日・京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

<2021年に開催延期（広島大学東広島キャンパスにて開催予定）>

①「日本の有機金属化学力（Power of Organometallic Chemistry in Japan）」

名古屋大学名誉教授 巽 和行氏

②「『一家に1枚周期表』に見るわが国の科学技術の底力」

公益財団法人豊田理化学研究所 所長 玉尾 皓平氏

③「有機合成を指向する有機金属化学の進展」

大阪大学名誉教授 村橋 俊一氏

第3回例会・12月22日<オンライン>（69名）

①「金属ナノ粒子触媒と連続照射マイクロ波を用いるグリーンケミストリー」

大阪大学大学院薬学研究科 教授 有澤 光弘氏

②「不斉C-H結合官能基化を目指した新規キラル触媒の創製」

北海道大学大学院薬学研究院 教授 松永 茂樹氏

③「 α , α -ジ置換型非天然 α -アミノ酸の新規触媒的合成法の開発」

九州大学大学院薬学研究院 教授 大嶋 孝志氏

第4回例会・1月26日<オンライン>（63名）

①「低原子価金属を用いる反応活性種の創製 —gem-ポリハロゲン化合物の還元に焦点をあてて」

岡山大学大学院自然科学研究科 教授（特任） 高井 和彦氏

②「転位と多重結合 ～有機ケイ素化学と歩んだ44年～」

東北大学名誉教授 飛田 博実氏

部会機関誌 Organometallic News 2020 No. 2, 3, 2021 No. 1 (Web版), 2020冊子体刊行

第2部会（合成部会）

有機合成化学の基礎研究並びに医薬、農薬、エネルギー開発生体模倣材料の合成化学的開発に関する研究会として合成フォーラム等を実施した。部会内に設置されたフロー・マイクロ合成研究会では、自動合成やマイクロリアクターを使った合成に関する研究会として研究会（学術講演会）、公開講演会&展示会等を実施した。

第1回合成フォーラム・9月14日<オンライン>（81名）

テーマ：新しい分子機能開拓を志向する有機合成

①「動的キラル触媒を用いた不斉増幅」

京都大学大学院工学研究科 教授 杉野目道紀氏

②「糖鎖と免疫」

大阪大学大学院理学研究科 教授 深瀬 浩一氏

③「生理活性化合物の新しい世界」

京都大学化学研究所 教授 上杉 志成氏

第2回合成フォーラム・1月29日<オンライン>（35名）

①「直鎖分子からの環骨格一挙構築を鍵工程とした天然物合成戦略」

大阪市立大学大学院理学研究科 講師 西川 慶祐氏

②「曲率を生み出す超分子重合による新しいナノテクノロジーの創製」

千葉大学グローバルプロミネント 研究基幹・教授 矢貝 史樹氏

③「フローマイクロ高速合成化学」

京都大学大学院工学研究科 准教授 永木愛一郎氏

[フロー・マイクロ合成研究会]

第86回研究会・6月12日<オンライン>（86名）

①「モノリスの多様性～革新的次世代多孔材料の応用展開～」

(株)エマオス京都 代表取締役 石塚 紀生氏

②「フローリアクターによるプロセス開発と社会実装への取り組み」

(株)カネカ 高砂工業所生産技術研究所 基幹研究員 大石 孝洋氏

③「静岡大学からのお便り：1年間研究して、ちょっと分かったこと～機械学習最適化フロー合成～」

静岡大学グリーン科学技術研究所 教授 間瀬 暢之氏

第34回公開講演会－講演&展示－・9月11日<オンライン>（127名）

①「マイクロ高速合成化学分野開拓とその後の展開について」

京都大学大学院工学研究科 准教授 永木愛一郎氏

②「Continuous Manufacturing of API&Fine Chemicals with Advanced-Flow Reactor Technologies」

Corning Incorporated Xinjun(Eric)Wu氏

③「出展企業プレゼンテーション」

④「フローシステムを用いた含窒素化合物の合成研究」

三重大学大学院工学研究科 教授 八谷 巖氏

⑤「マイクロ流路におけるスラグ流の流体挙動解析と制御」

京都大学大学院工学研究科 教授 外輪健一郎氏

⑥「ロボット合成からフロー合成へそして今」

大阪府立大学研究推進機構 特任教授/台湾国立交通大学 講座教授 柳 日馨氏

＝オンライン展示会＝

(株)朝日ラボ交易、(株)神戸製鋼所、(株)DFC、富士テクノ工業(株)、マックエンジニアリング(株)、(株)ワイエムシィ

第88回研究会・11月13日<オンライン>（87名）

①「有機合成の自動化・遠隔化の波とフロー合成の今後」

名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授 布施 新一郎氏

②「カラムフロー水添の実用化に向けて」

日産化学(株)物質科学研究所合成研究部 小沢 征巳氏

③「マイクロ空間を用いたダイキン工業における環境調和型プロセスの開発」

ダイキン工業(株)化学事業部プロセス技術部 太田 俊彦氏

第89回研究会・3月5日<オンライン>(95名)

①「フローリアクターが革新する有機電解プロセス」

横浜国立大学大学院工学研究院機能の創生部門 教授 跡部 真人氏

②「マイクロ流体デバイスを用いたDDSナノ粒子作製法の開発」

ライラックファーマ(株) 技術アドバイザー

北海道大学工学研究院応用化学部門分子機能化学分野 助教 真栄城正寿氏

③「有機合成のデジタル化」

京都大学大学院工学研究科材料化学専攻 教授 松原誠二郎氏

第3部会(触媒・表面部会)

触媒化学の基礎研究並びにファインケミカルズ開発の触媒設計等に関する研究会としてキャタリストクラブ例会(学術講演会)、学術セミナー、学術講習会、国際シンポジウム等を実施した。

第1回キャタリストクラブ例会・5月22日・大阪大学中之島センター<中止>

①「窒素化合物の変換を志向した複合貴金属触媒の開発とその微細構造の解析」

京都大学触媒・電池元素戦略ユニット 特定講師

名古屋大学大学院 化学システム工学専攻 招聘教員 佐藤 勝俊氏

②「粉末光触媒による人工光合成反応の開拓」

大阪大学太陽エネルギー化学研究センター 准教授 白石 康浩氏

入門触媒科学セミナー・10月19日~20日<オンライン>(42名)

①開会挨拶

大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

②「触媒科学の基本概念ーこれだけは知っておこう」

関西大学環境都市工学部 教授 三宅 孝典氏

③「固体表面の酸・塩基点とその触媒機能」

徳島大学大学院創成科学研究科 准教授 山本 孝氏

④「金属酸化物触媒ー多様な触媒機能の宝庫ー」

京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村謙太郎氏

⑤「遷移金属錯体触媒ー錯体の基礎と有機合成触媒反応ー」

奈良女子大学大学院自然科学系 准教授 浦 康之氏

⑥「金属ナノ粒子触媒ー構造と触媒作用及び設計法ー」

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏

⑦「触媒調製化学ー基礎から最近のナノ構造触媒までー」

大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

⑧閉会挨拶

大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

国際シンポジウム(Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis (OKCAT2020))<中止>

ナノ材料の表面分析講習・11月19~20日<オンライン>(38名)

①開会挨拶

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏

②「表面分析概論」

関西大学環境都市工学部 教授 池永 直樹氏

③「顕微鏡(TEM・SEM・STM・AFM)」

近畿大学理工学部 講師 田中 淳皓氏

- ④「紫外可視・光ルミネセンス (UV-vis, PL)」
京都大学大学院人間・環境学研究科 助教 山本 旭氏
- ⑤「赤外・ラマンスペクトル (FT-IR, Raman)」
関西大学環境都市工学部 助教 福 康二郎氏
- ⑥「X線回折 (XRD)」
大阪市立大学複合先端研究機構 特任准教授 東 正信氏
- ⑦「X線吸収微細構造 (XAFS)」
京都大学学際融合教育研究推進センター 特定講師 朝倉 博行氏
- ⑧「光電子分光法 (XPS, UPS)」
大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 堀内 悠氏
- ⑨「電子スピン共鳴 (ESR)」
大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏
- ⑩「核磁気共鳴 (NMR)」
大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 水垣 共雄氏
- ⑪「質量分析 (MS)」
神戸大学大学院工学研究科 助教 谷屋 啓太氏
- ⑫「昇温スペクトル (TPD, TPR)」
大阪大学大学院工学研究科 講師 桑原 泰隆氏
- ⑬「組成分析 (AAS, ICP-AES, XRF)」
大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 亀川 孝氏
- ⑭「総論・ケーススタディー」
大阪市立大学複合先端研究機構 教授 吉田 朋子氏
- ⑮閉会挨拶
京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏
- 第2回キャタリストクラブ例会・1月25日<オンライン>(36名)
- ①「自動車排ガス浄化触媒の現状と展望」
ユミコア日本触媒(株) 技監 堀 正雄氏
- ②「金属間化合物の特異な表面が生み出す選択的触媒作用」
東京工業大学理学院化学系 教授 小松 隆之氏

第4部会 (ヘテロ原子部会)

脱硫、脱硝に伴う副生物の有効利用、ヘテロ原子化学の基礎研究並びに応用開発に関する研究会として懇話会(学術講演・見学会)等を実施した。

第1回懇話会・8月7日<オンライン>(37名)

- ①「有機化学と超分子化学の視点を取り入れた動的錯体化学」
金沢大学ナノ生命科学研究科 教授 秋根 茂久氏
- ②「化学分野でのAI利用」
大阪大学産業科学研究所 教授 笹井 宏明氏
- ③「合成新手法と合成新技術が織りなす有機合成の醍醐味」
大阪府立大学研究推進機構 特認教授/台湾国立交通大学 講座教授 柳 日馨氏

第2回懇話会・12月14日<オンライン>(35名)

- ①「新しい含フッ素カルボアニオンの創製と応用」
群馬大学大学院理工学府 教授 網井 秀樹氏
- ②「ヘテロ原子が直接結合したオレフィンを反応点とする炭素環・ヘテロ環合成法;芳香環につながれた2つの多重結合間での反応」
大阪大学大学院薬学研究科 教授 有澤 光弘氏

③「ホウ素およびスズを有する有機典型金属化合物の選択的合成反応の開発とその応用」

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 吉田 拓人氏

第3回懇話会・3月11日<オンライン>(41名)

①「触媒的骨格転位を鍵とする新しい合成手法の開拓」

東北大学大学院理学研究科 巨大分子解析研究センター 兼 化学専攻 准教授 中村 達氏

②「ヘテロ原子の特性を生かした機能性色素の創出」

九州大学大学院工学研究院 准教授 清水 宗治氏

③「ゲルマニウム低配位化学種を活用した典型元素触媒反応への挑戦」

筑波大学数理工学系化学域 教授 笹森 貴裕氏

第5部会 (バイオ部会)

バイオテクノロジーの基礎研究並びに工業生産技術開発に関する研究会として、従来、企業や研究機関の見学と講演という内容で例会(学術講演会)等を実施してきたが、今年度はコロナ禍で実施できなかった。

第6部会 (機能性色素部会)

機能性色素材料の基礎研究並びにデザイン、合成、物性等に関する研究会として例会(学術講演会)、公開講演会を実施した。

見学研修セミナー・7月8日・東海カーボン(株)知多工場 [エレクトロニクス部会と共催] <中止>
合同公開講演会「マテリアルインフォマティクスの最近の動向」・11月12日<オンライン>

(91名) [エレクトロニクス部会と共催]

①「計算化学とマテリアルズ・インフォマティクスを活用した機能性材料の開発」

ユニカミノルタ(株) 技術フェロー・開発統括本部要素技術開発センター長 北 弘志氏

②「反応経路のデータベースと機械学習を用いる触媒・発光材料の理解・分子設計」

慶應義塾大学理工学部化学科 准教授 畑中 美穂氏

③「目標から特徴量を直接予測するモデル逆解析法および適応的実験計画法への応用」

明治大学理工学部応用化学科 准教授 金子 弘昌氏

④「統計的機械学習による材料の表現と生成：新分野の開拓と障壁」

情報・システム研究機構 統計数理研究所 センター長・教授 吉田 亮氏

第101回例会・11月24日<オンライン>(36名)

テーマ「有機太陽電池の最新動向と新展開」

①「エネルギーハーベスティング向け色素増感太陽電池の実用化」

(株)フジクラ 電子応用技術R&Dセンターセンサ・システム研究部 グループ長 松井 浩志氏

②「高触媒性・高耐久性を有するPEDOT電極の開発と白金フリー色素増感太陽電池への適用」

日本ケミコン(株) 研究開発本部基礎研究センター 専門マネージャー 町田 健治氏

③「分子工学に基づいた有機太陽電池材料の創製」

京都大学大学院工学研究科分子工学専攻 教授 今堀 博氏

第102回例会・1月25日<オンライン>(58名)

テーマ「外部刺激応答性色素の最新動向」

①「感熱・感圧記録用色素-ロイコ染料のこれまでと今後の展望」

山本化成(株)機能材事業部 山下 義弘氏

②「外部刺激応答性色素の活用とその展開」

(株)松井色素化学工業所 技術開発部 マネージャー 水原 智浩氏

③「多重刺激応答性を有する磨砕応答色素の発色・発光色変化」

兵庫県立大学大学院工学研究科 准教授 近藤 瑞穂氏

④「光機能性クロミック金属錯体化学最前線」

北海道大学大学院理学研究院 教授 加藤 昌子氏

第7部会 (エレクトロニクス部会)

電子材料の新素材研究と学際領域の技術開発に関する研究会として例会(学術講演会)、研修セミナー、公開講演会等及び、部会機関誌 Electronics Communicationsを刊行した。

見学研修セミナー・7月8日・東海カーボン(株)知多工場 [機能性色素部会と共催] [前出]
<中止>

合同公開講演会 「マテリアルインフォマティクスの最新の動向」・11月12日<オンライン>
[機能性色素部会と共催] [前出]

第1回研究会・12月3日<オンライン> (23名)

テーマ「希少金属を取り巻く基礎研究と国際マーケットの現況」

①「希土類イオンを使った分子性磁性材料」

電気通信大学大学院情報理工学研究科 教授 石田 尚行氏

②「希土類を用いた分子発光体：開発と応用」

北海道大学工学研究院応用化学部門機能材料化学分野 教授 長谷川靖哉氏

③「2021年世界経済と商品市場動向」

(株)マーケット・リスク・アドバイザー 代表取締役 新村 直弘氏

第2回研究会・2月2日<オンライン> (22名)

テーマ「新時代の分子・有機エレクトロニクス」

①「有機材料ならではの機能をもった次世代トランジスタの開発」

(国研) 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス拠点 副拠点長 若山 裕氏

②「1分子デバイスと機械学習の融合」

大阪大学産業科学研究所 教授 谷口 正輝氏

③「ヘテロエピタキシャル球状 (HS) ナノギャップ電極を用いた単分子トランジスタ」

東京工業大学科学技術創成研究院フロンティア材料研究所 教授 真島 豊氏

部会機関誌 Electronics Communications No.36刊行 (電子版)

第8部会 (コンピュータ化学部会)

物質のデザイン、生産工程のコントロール、人工知能開発研究に関する研究会として例会(学術講演会)、公開講演会、公開セミナー等を実施した。

公開講演会 (第108回例会)・11月25日<オンライン> (37名)

[機能性色素部会・エレクトロニクス部会と共催]

テーマ「電子材料の開発と計算化学」

①「電荷輸送マルチスケールシミュレーション・量子化学を用いた有機EL発光材料のハイスループット探索」

京都大学化学研究所 教授 梶 弘典氏

②「パナソニックにおけるマテリアルズ・インフォマティクスの実践」

パナソニック(株)イノベーション推進部門テクノロジー本部 課長 藤井 幹也氏

公開講演会 (第109回例会)・3月23日<オンライン> (24名)

テーマ「「富岳」を使った新型コロナウイルス研究」

①「スーパーコンピュータ「富岳」・AIによる新型コロナウイルス治療法開発への挑戦」

京都大学大学院医学研究科 教授 奥野 恭史氏

②「富岳を用いた新型コロナウイルス表面のスパイク蛋白質の動的構造の計算」

(国研) 理化学研究所計算科学研究センター チームリーダー 杉田 有治氏

- ③「新型コロナウイルスの関連タンパク質に関するフラグメント分子軌道計算による解析事例」
立教大学理学部化学科 教授 望月 祐志氏

第9部会（重合工学部会）

重合体製造プロセスに関する研究会として例会（学術講演会）、重合プロセスの基礎講習会を実施した。

第1回例会・12月2日・大阪府立大学 I-siteなんばく対面・オンライン>（27名）

- ①「CID 重合開始剤連続滴下重合について」

スーリオン・ジャパン(株) 代表取締役社長 戸倉 一樹氏

- ②「噴霧乾燥装置の特徴と応用例」

大川原化工機(株)開発部 部長 根本源太郎氏

重合プロセスの基礎講習会・1月14日～15日<オンライン>（21名）

- ①「ポリマー製造プロセスの構成と単位操作」

浅野生産革新・攪拌研究所 主宰 浅野 健治氏

- ②「高分子合成の基礎」

神戸大学大学院工学研究科 教授 南 秀人氏

- ③「重合機構と反応速度」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 安田 昌弘氏

- ④「微粒子生成の重合反応」

福井大学大学院工学研究科 准教授 鈴木 清氏

- ⑤「重合プロセスの操作設計」

神戸大学大学院工学研究科 教授 大村 直人氏

- ⑥「重合反応装置の基本設計と事例紹介」

住友重機械プロセス機器(株)技術部攪拌技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏

- ⑦「PVCものづくりの現状と将来—プロセスから製品化—」

元(株)カネカ 一色 実氏

【学協会との連携及び合同事務局の運営事業】（共益事業4）

1. 学協会との連携及び合同事務局運営事業

一般社団法人近畿化学協会・公益社団法人日本化学会近畿支部・公益社団法人化学工学会関西支部・公益社団法人日本分析化学会近畿支部・公益社団法人有機合成化学協会関西支部の5法人で「合同事務局運営委員会」を組織して合同事務局の運営を行った。

2. 関連学協会協賛行事

化学分野の学術団体が主催する学術セミナー・学術講演会などの行事に協賛し、内容を会誌などで会員に周知した。会員が行事に参加する場合は各主催者で定めた割引費用で参加できる。

2020年度事業報告の付属明細書

2020年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上